

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN WEEKLY REPORT

2016-2017

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル
■会長/木下 福郎 ■幹事/細井 俊男 ■会報・雑誌・広報委員長/木村 猛
■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054



人類に
奉仕する
ロータリー

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com 2016-17年度 国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム

国際ロータリー第2760地区 西名古屋分区 インターシティミーティング

於：名古屋東急ホテル

第 1215 回

2017年3月24日(金) 晴 第33回

～水と衛生月間～

斉唱 我等の生業
出席 会員53名(出席率算入人数34名)
出席22名 出席率64.71%
前々回補填率97.56%(3月14日分)

ごあいさつ

国際ロータリー第2760地区
西名古屋分区ガバナー補佐
深谷 友尋さん

本日は西名古屋分区インターシティミーティングに名古屋クラブを始め市内13クラブの会員皆様にご参加を賜り誠に有難うございます。

また、服部良男ガバナーはじめ地区役員の皆様にも謹上華を添えていただき衷心より厚く御礼申し上げます。

本年度の国際ロータリーのテーマ「人類に奉仕するロータリー」を提唱しました。また地区は、「真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう」と方針を定めロータリー活動を行ってまいりました。

国際ロータリーは規定審議会にて、現状のロータリー精神を堅持し、よりわかり易く、身近で、参加しやすいプログラムへと変わりつつあります。本日は基調講演には、国際ロータリー理事齋藤直美様より「ロータリーがかわる」と題してご講演をいただきますことは、誠に機を得たお話と存じます。また武田邦彦教授には「エネルギー環境の近未来」と題してご講演頂きます。期せずして次年度国際ロータリー会長は講演の中で、持続可能な奉仕というロータリーの目標にとって「環境保護と温暖化抑止」が極めて重要と話されました。

皆様と共にロータリー奉仕活動の意義を学ぶことが出来れば幸甚に存じます。



アトラクションでは、ロータリアンの友情を皆様と深める懇親会に独自性あふれる表現力ゆたかな演奏スタイルで超人気ジャズ・ヴァイオリニスト寺井尚子さんのジャズアルバムをお楽しみ下さい。末筆になりますが、この度のIMを開催するにあたりホストクラブ名古屋みなとクラブ鈴木会長始め、多くの会員の皆様にご協力いただきました事に心より感謝申し上げます。有難うございました。

基調講演

■演題『ロータリーがかわる』
2016年～2018年度
国際ロータリー理事
齋藤 直美さん



◇ロータリー歴
1979年2月8日 豊田ロータリークラブ入会
1984年～1985年 国際奉仕委員長
1997年～1998年 国際奉仕委員長
2000年～2001年 クラブ副会長(クラブ奉仕委員長兼任)
2002年～2003年 クラブ会長
2003年～2004年 地区財団奨学委員会 ロータリー情報委員長
2004年～2005年 地区財団奨学委員会
2005年～2006年 ガバナーエレクト
2006年～2007年 ガバナー
2010年～2013年 NPO法人国際ロータリー日本青少年交換委員会 理事長 他
2013年～2015年 国際ロータリー青少年交換委員会 委員
NPO法人国際ロータリー日本青少年交換委員会 理事 他
2015年 ロータリーの友事務所 社員 及び 友委員会 委員
2016年～ 国際ロータリー理事

記念講演

■演題『エネルギー環境の近未来』
中部大学総合工学研究所
教授 武田 邦彦さん
'66年東京大学教養学部基礎科学科卒業。
'93年より芝浦工業大学工学部教授。
2002年より名古屋大学教授を経て、2007年3月よ

り現職（専門分野：資源材科工学）。

多摩美術大学非常勤講師。

文部科学省中央教育審議会、科学技術審議会、内閣府原子力安全委員会の専門委員。これまで東京大学などの非常勤講師、芝浦工業大学では評議員、学長事務代理などを歴任。



著書に「分離のしくみ」（共立出版）、『リサイクル幻想』（文春文庫）、「二つの環境」（大日本図書）、『何を食べれば安全か』（青春出版社）、『環境問題でなぜウソがまかり通るのか』（洋泉社）他多数。環境に関する著書が高等学校現代国語の教科書に収録されている。

アトラクション

ヴァイオリニスト 寺井 尚子さん

4歳よりヴァイオリンを始め、1988年ジャズ・ヴァイオリニストとしてプロ・デビュー。

来日中だったジャズ・ピアニスト、ケニー・バロン氏との共演をきっかけに、ニューヨークでのレコーディングに参加し、一躍注目を集める（1997年）。その後も独自性あふれる表現力ゆたかな演奏スタイルで人気の高いコンサートを中心に、テレビ、ラジオ、CMなど、幅広く音楽活動を展開している。



最新作『リベルタンゴ・イン・トーキョー』をはじめ、年1作のペースで発表しているアルバムは、いずれもジャズ・アルバムとして異例のセールスを記録。繊細な表現力と情熱的な演奏にますます磨きがかかる、世界を舞台に活躍するジャズ・ヴァイオリニストである。

第 1217 回例会 (4月11日) のご案内

外部卓話